

シェアサイクル実証実験の期間延伸について

1 報告趣旨

令和2年(2020年)4月に開始したシェアサイクル実証実験は、新型コロナウイルス感染拡大による長期間に渡る移動制限、イベント中止に伴い、当初予定していたとおりにエリア展開及び利用拡大を行うことができなかった。またウィズコロナ、アフターコロナの行動変容についても、今後、観察、検証する必要があるため、実証実験期間を令和6年(2024年)3月まで2年間延伸することについて報告する。

2 報告内容

(1) 実証実験期間

当 初：令和2年(2020年)4月～令和4年(2022年)3月(2か年)

延伸後：令和2年(2020年)4月～令和6年(2024年)3月(4か年)

(2) 延伸期間における今後の取組み

八王子市	・ 鉄道駅周辺や市民の利用が多い公共施設等の公共ポートの拡充 ・ 高齢者や学生など幅広い層への利用促進 ・ 他事業との連携による利用促進 ・ 周辺自治体との広域連携 など
運営事業者	・ 商業施設等の民間ポートの拡充 ・ 利用機会の損失抑制のための日常管理体制の強化 ・ 公共交通機関との連携による利用促進 ・ 充電ポートの展開など事業採算性の向上 など

(3) 2年後の目指すべき姿

ア 面的なネットワークが形成され、幅広い層の市民の方々が利用できる身近な移動手段として定着している。

イ 得られたビッグデータの活用や事業連携により、市が実施する交通・観光・環境等の各方面の施策展開がされている。

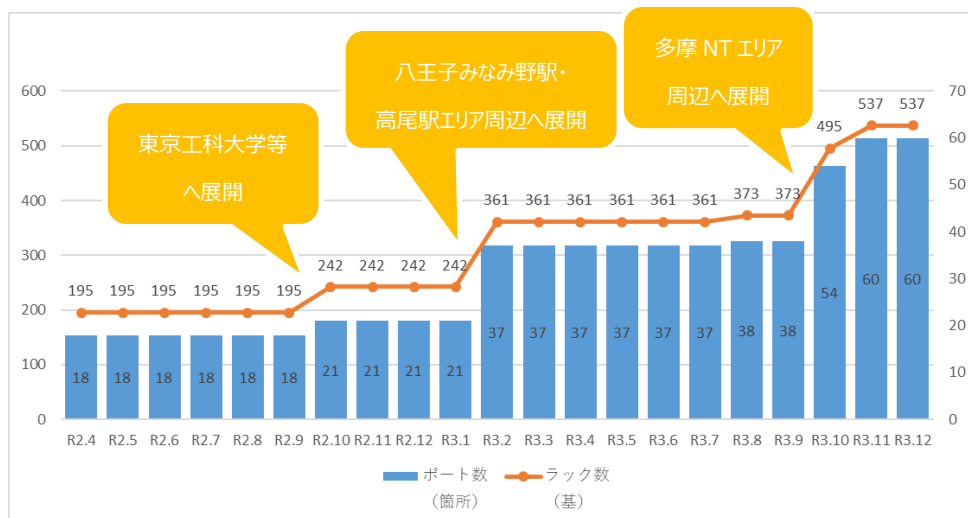
ウ 鉄道や路線バス等と同様に、運営事業者による安定したサービス提供が可能となっている。

3 その他

(1) ポート数・ラック数の推移

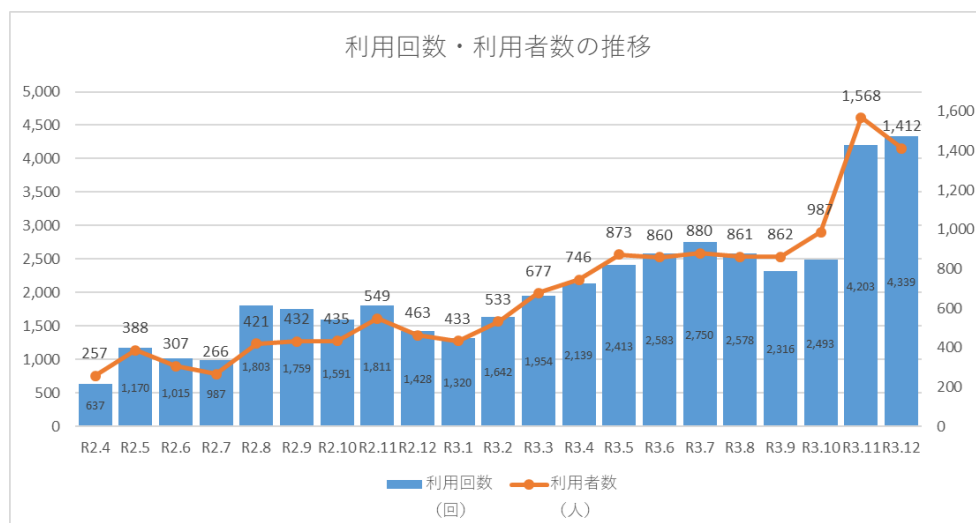
令和2年（2020年）4月に18か所、195ラックで開始し、エリア展開に伴い、令和3年（2021年）12月時点では60か所、537ラックを展開。

（ポート…自転車の貸出、返却拠点 ラック…自転車を停めるためのスタンド）



(2) 利用回数・利用者数の推移

エリア展開に伴い、令和3年（2021年）12月時点では利用回数4,339回、利用者数1,412人。



サイクルポート位置図

